



05 02 19

オオタカ棲む里山の自然 いつまでも！

瓦版にゆうす

旧日本IBMグランド跡地対策協議会



NO.34改訂版

長谷工、各地で販売不振に「困った！」 他地域の仲間達と力を合わせて戦おう！

2月26日(土) 紛争発生3年目突入を機に
現地パレードを実施します。
「第11回 住民集会／住民説明会」
も同時開催

■対策協議会結成3周年を期して「この町の自然環境と住環境を守ろう！」というモットーを広く住民の方々と共にし、新たな気持ちで3年目に突入するために現地パレードを実施します。ふるってご参加下さい。尚パレード前に住民説明会及び集会も開かれます。今回は国立で巨大マンションと戦っている仲間達が応援にきてくれます。有意義な情報交換を行いましょ。

13:00 さくらんぼホールにて住民説明会

14:00 住民集会、「東京海上跡地より大学通りの環境を考える会」の事務局の方々との交流会終了次第パレードへ出発

15:40 化石谷公園にて解散。

その後グランド跡地正門前でお汁粉のサービスもあります。パレードに参加できない方も15:45頃までにグランド正面にお集まり下さい！

**2月18日(日)市役所森野分庁舎にて
建築確認不服審査請求
「口答審尋」開かれる。**

■昨年11月に町田市建築審査会に提出した建築確認不服審査請求に対し(株)日本ERIより2回弁明書が届きこちらからも更に反論書を提出しました。18日には審査会口答審尋が開かれ、住民側はあくまでもERIが下ろした建築確認処分取り消しを訴えました。町田市審査会は賢明な判定を下すでしょうか。ご注目下さい。

最新情報は対策協議会ホームページで！

<http://taisaku.holy.jp/>
ご意見は…taisaku@ee.holy.jp

事務局…042-725-0438

東京地方裁判所に提訴！

**2月3日、正門前道路を通行する
特殊車両の認定について沿道の
住民は寺田市長を訴えました。**

■実測6mに満たないところもあり、学童や介護バスなどの行き交う334号線を通行する大型車両について、特殊車両認定をする際には厳正に審査して欲しい、とかねてから私達は、要望してきました。市は「認定する際の条件を付けてあるので問題はない」とし、また行政報告でも「条件が守られているかどうか厳しく管理する」と公言したにも拘わらず、昨年10月の強行着工以来現場に足を運んだのは数回だけ。住民が毎日監視しハセコーの実態を報告しているというのに、ハセコーの一方的な話のみを聞き「学童の安全のために3時から4時は極力通行を避ける」という項目から「3時から4時」を外し骨抜きにしてみました。市民との約束を守らないような行政では今後も市民の生活が脅かされます。

■334号線を通行する車両の認定については、昨年8月に市に対して異議申立てをし、さらに都に対して不服審査請求をしてきましたが、事態は改善されず、それに続く法的手続きとして、提訴期限近の2月3日に止むなく行政訴訟に踏み切りました。

**ハセコーの蔭に隠れる
東武鉄道初め建築主5社**

行政指導のオオタカ事前調査にも従わず、1月16日の説明会では、住民からの社長への直接の質問状にもはっきりと「回答はしない」と言う返事をよこしたハセコー。その裏に隠れ、東武鉄道初め5建築主はあくまでも住民との対話を拒み続けています。

正門前監視にご協力ください

■市が工事車両搬出入を厳しく監視してくれない以上住民による監視が一層重要になってきました。その上徐行運転や一般車優先が日増しにルーズになってきています。是非正門前監視にご協力下さい。